

● 草の根パートナー型

2016年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ブータン王国
2. 事業名	ブータン王国ティンブー市における廃棄物適正管理に関する技術移転事業
3. 事業の背景と必要性	逼迫する埋立処分能力に対応し廃棄物処理事業の適正化を図るために、既存の最終処分場や収集車両の維持管理の適正化技術を移転し、埋立廃棄物の最小化、周辺環境悪化の抑制、労働環境の向上を図るために新しい処理施設整備に向けた技術を習得するとともに、市民全体で廃棄物処理対策に取り組むための環境教育を幅広く展開することが必要である。
4. プロジェクト目標	市民の協力のもとで、ティンブー市における廃棄物が適正に管理される。
5. 対象地域	ティンブー市全域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ティンブー市環境部職員10名 ・グリーンナーウェイ社員約30名 ・市内6つの小学校児童800名 ・小学校教師約60名
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存施設・機材の適正維持管理技術を習得する。 2. 新規処理施設の導入に向けた技術を習得する。 3. 行政（環境部、教育部）・学校・民間企業が連携し、市民を対象にした環境教育体制が整う。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存施設・機材の維持管理技術を習得する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 廃棄物処理実態調査（2013年実施）の見直しを実施する。 2) 最終処分場の延命化を目的とした埋立作業を実施する。 3) 収集車を継続的に使用できる点検整備作業を実施する。 4) 廃棄物処理システムの管理チェックリストを作成し、定期的に記録する。 2. 新規処理施設の導入に向けた技術を習得する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新規最終処分場の建設に向けた基本設計を作成する。 2) コンポストモデルプラントを設置し維持管理する。 3) 医療廃棄物用小型焼却施設に関する研修や現地調査を実施し、将来計画を作成する。 4) プラスチックの資源化に関する研修や現地調査を実施し、将来計画書を作成する。 3. 行政・学校・民間企業が連携し、市民を対象にした環境教育体制が整う。 <ol style="list-style-type: none"> 1) トランスファーステーションを、啓発機能を有するリサイクルプラザと位置付け、主に小学生を対象とした環境教育を実施する。 2) 製紙モデル等の啓発用機材を活用した環境教育を実施する。 3) 行政（環境部、教育部）・学校・民間企業が連携してごみ問題副読本を作成する。 4) 環境部・民間企業が連携して市民啓発用リーフレットを作成する。 5) 小学校教師や環境部職員、民間企業の環境教育実施担当者を対象としたセミナーを開催する。 6) 各校でモデル授業を複数回実施する。 7) 以上の取り組みを効果的に実施するために、環境部・小学校教師・リサイクル企業からなるワークショップを開催する。
8. 実施期間	2017年8月～2021年4月（3年8ヶ月）
9. 事業費概算額	90,071千円
10. 事業の実施体制	（日本側）一般財団法人日本環境衛生センター （相手国側）ブータン王国ティンブー市
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	一般財団法人 日本環境衛生センター
2. 活動内容	環境・廃棄物全般の調査・研究・普及啓発 国際協力（人材派遣、研修コース運営）